

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the center. The top-left quadrant is blue, the bottom-left is red, and the bottom-right is yellow.

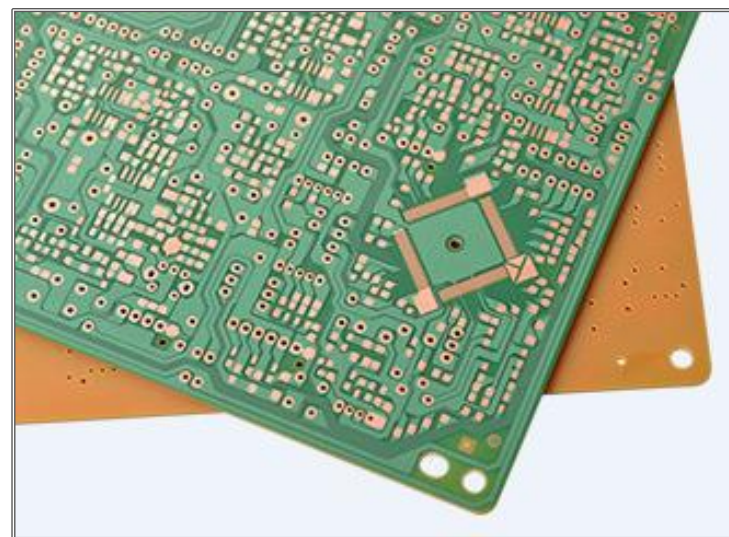
2023年3月期 決算説明会

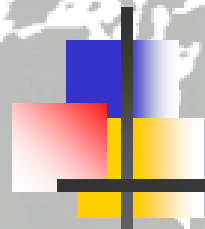
株式会社 京写

証券コード：6837

2023年 5月 29日

- I. 2023年3月期 決算概要
- II. 2024年3月期 業績予想
- III. 中期経営計画について
- IV. サステナビリティへの取組み





I. 2023年3月期 決算概要

■ 決算総括 → 連結増収・営業利益、経常利益増益

- ・売上：中国から北米の自動車向けとベトナム生産量の増加及び円安による増収
- ・営業利益：ベトナム、三和の業績が大きく改善し増益

→ 当期利益減益

- ・当期純損失：生産協力会社から当社グループの製造拠点への生産移管に伴う特別損失計上

■ 国内の状況 → 増収・営業利益減益：基板の受注減、実装関連は回復

- ・プリント配線板は自動車生産調整の影響から受注は低調、主材料等の価格や電力料等の製造経費高騰で減益
- ・実装関連は産業機器や通信機器向けの受注好調

■ 海外の状況 → 増収・営業利益増益：自動車向け新規顧客開拓及び新商品が寄与

- ・ベトナムは増収により赤字額減少
- ・中国、インドネシアは外作売上増も内作減少で固定費増

2023年3月期 連結決算業績



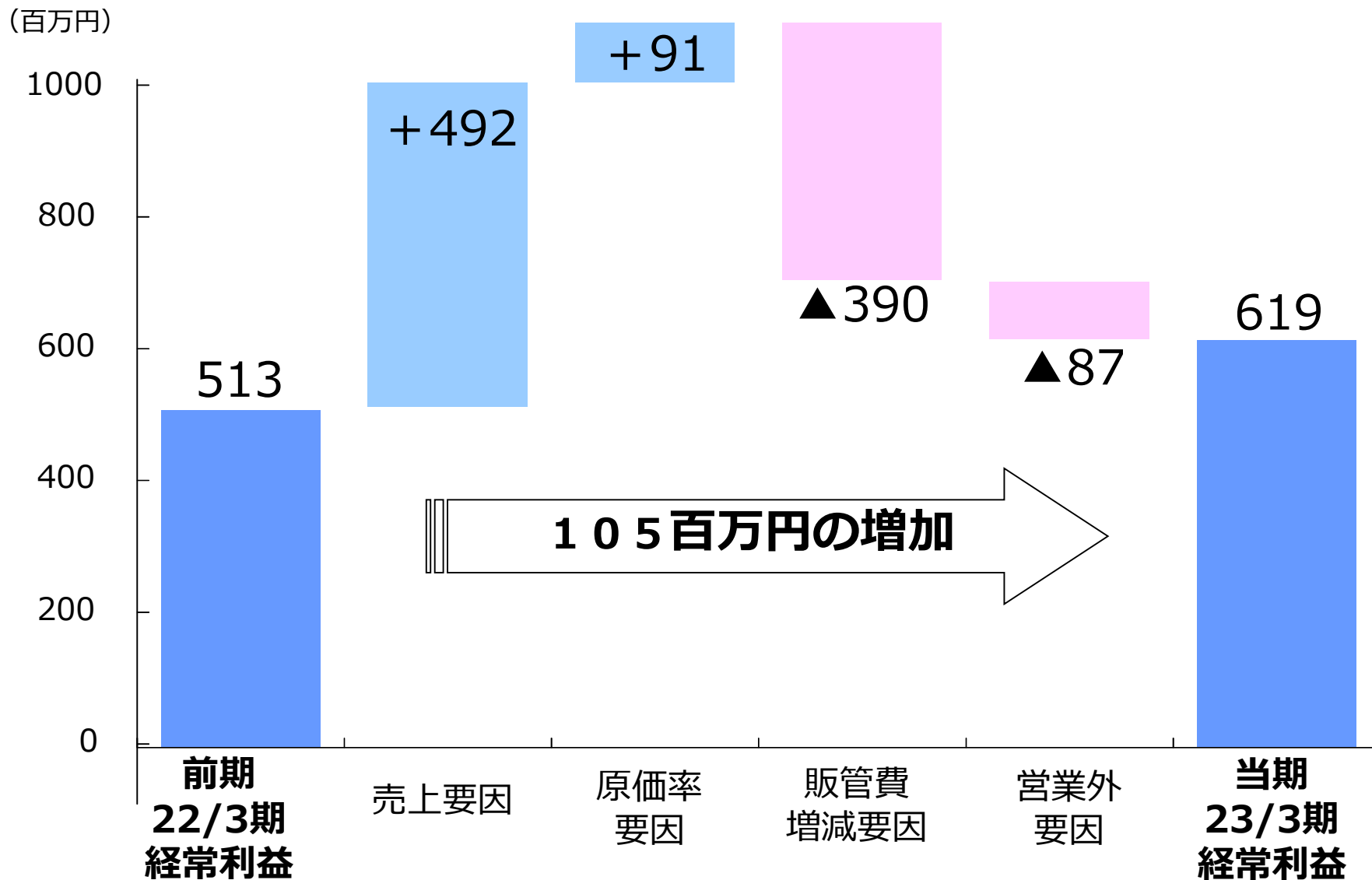
(単位：百万円)

連結	前期実績 (2022年3月期)	当期実績 (2023年3月期)	増減額	前期比
売上高	21,337	24,462	+3,125	114.6%
営業利益	478	671	+193	140.3%
経常利益	513	619	+105	120.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	289	△ 485	△774	—
営業利益率	2.2%	2.7%		
為替 レート	インドネシア (US\$) 112.38	135.47	23.09	120.5%
	ベトナム (US\$) 109.80	131.43	21.63	119.7%
	中国・香港 (HK\$) 14.13	16.78	2.65	118.8%

※ 特別損失 △836百万円

経常利益の前期比較

■ 経費増加するも増収増益



地域別セグメント業績

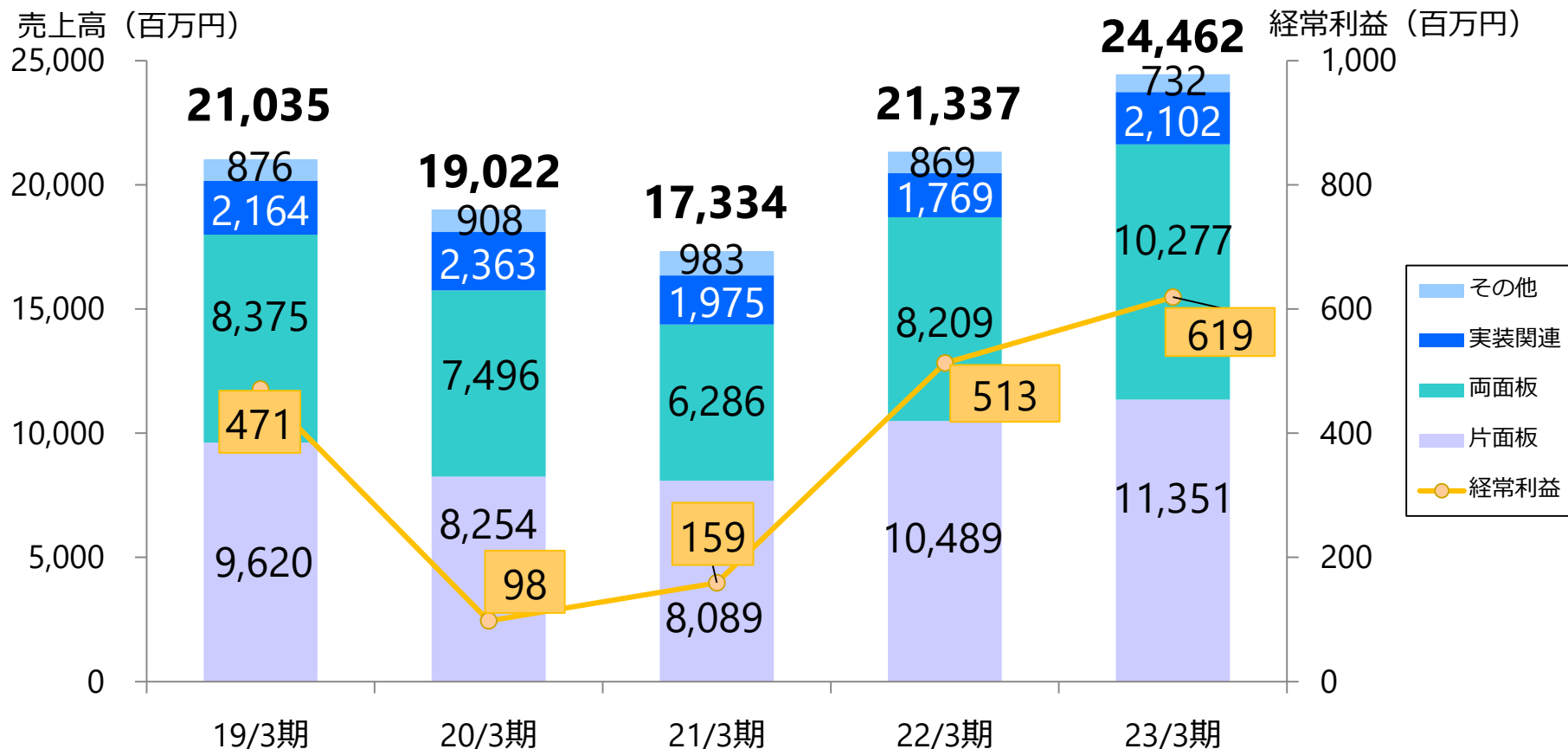


- 日本 : 実装関連の受注好調により増収も基板の受注低調により減益
 中国 : 両面板とアルミ基板の増収、片面板の減収、経費の増加により利益微増
 インドネシア : 両面板の増収も片面板の減収により赤字
 ベトナム : 増収により赤字額大幅減

拠点		前期実績 (2022年3月期)		当期実績 (2023年3月期)		増減	
		百万円	利益率	百万円	利益率	百万円	率
日本	売上高	9,647		9,846		+198	2%
	営業利益	239	2.5%	189	1.9%	△49	△21%
中国	売上高	11,403		13,552		+2,149	19%
	営業利益	644	5.7%	699	5.2%	+54	8%
インドネシア	売上高	2,034		2,739		+705	35%
	営業利益	14	0.7%	△13	-	△27	-
メキシコ	売上高	85		95		+9	11%
	営業利益	5	6.3%	△0	-	△5	-
ベトナム	売上高	588		2,151		+1,563	266%
	営業利益	△422	-	△178	-	+243	-

製品別売上高推移

■ 両面板はベトナム増加及び単価上昇で増収、実装関連は回復基調



為替レート

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
インドネシア: US\$	110.91	108.74	106.06	112.38	135.47
ベトナム: US\$	—	109.05	106.82	109.80	131.43
中国・香港: HK\$	14.09	13.92	13.77	14.13	16.78

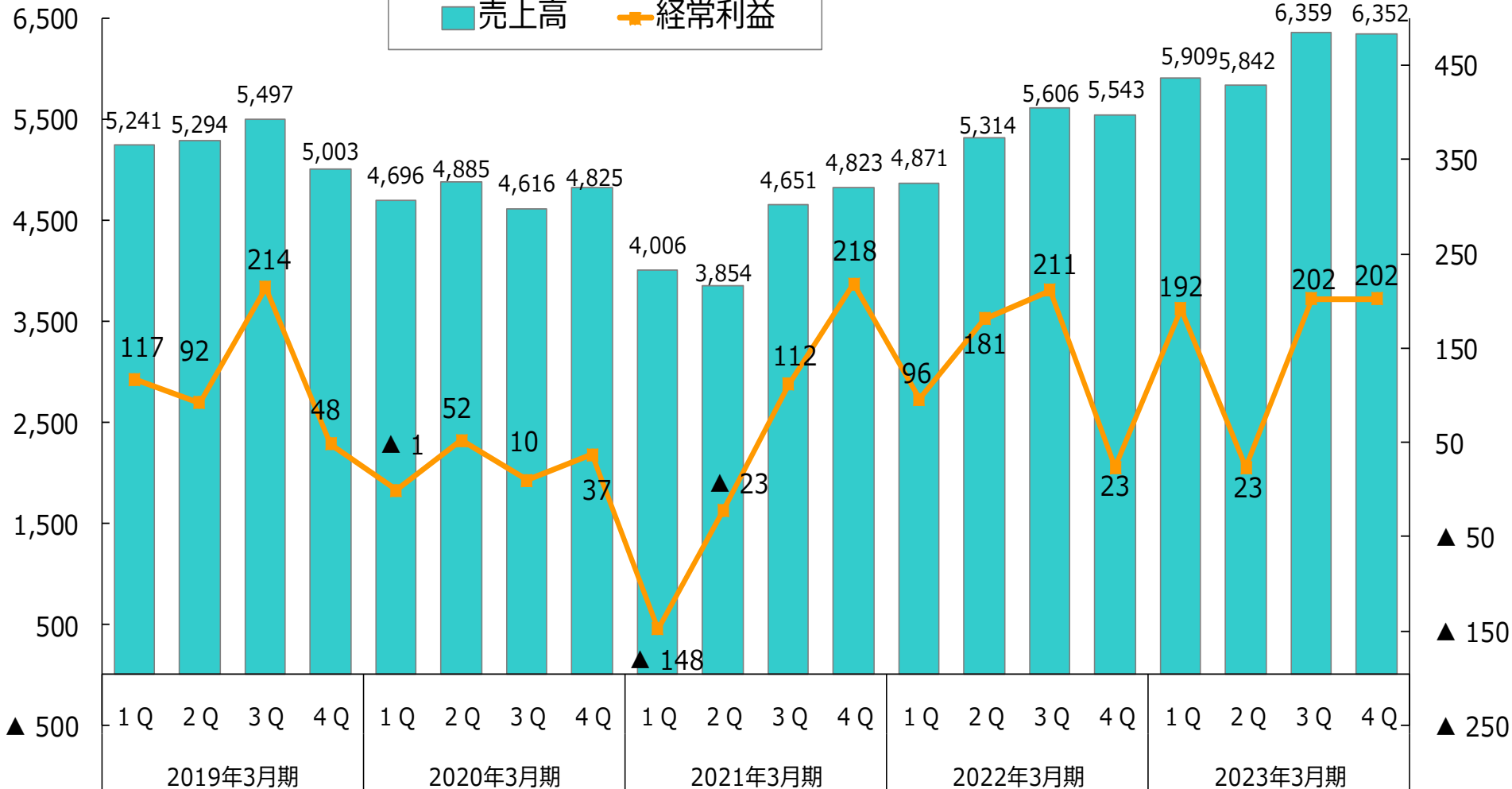
※両面板に多層板と銀ルーホール基板を含む

四半期毎の業績推移

■ 3Q比 売上、利益とも同水準

売上高 (百万円)

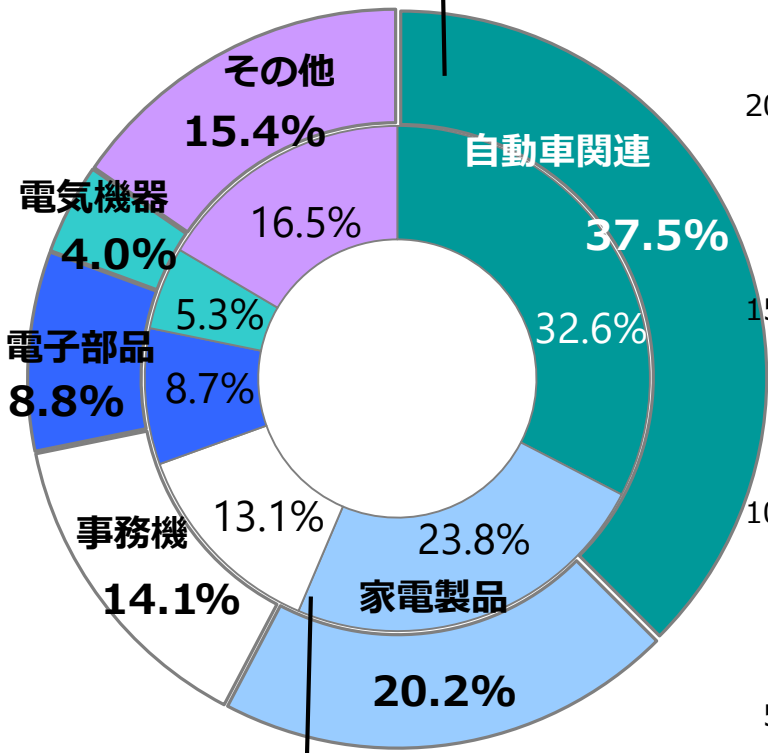
経常利益 (百万円)



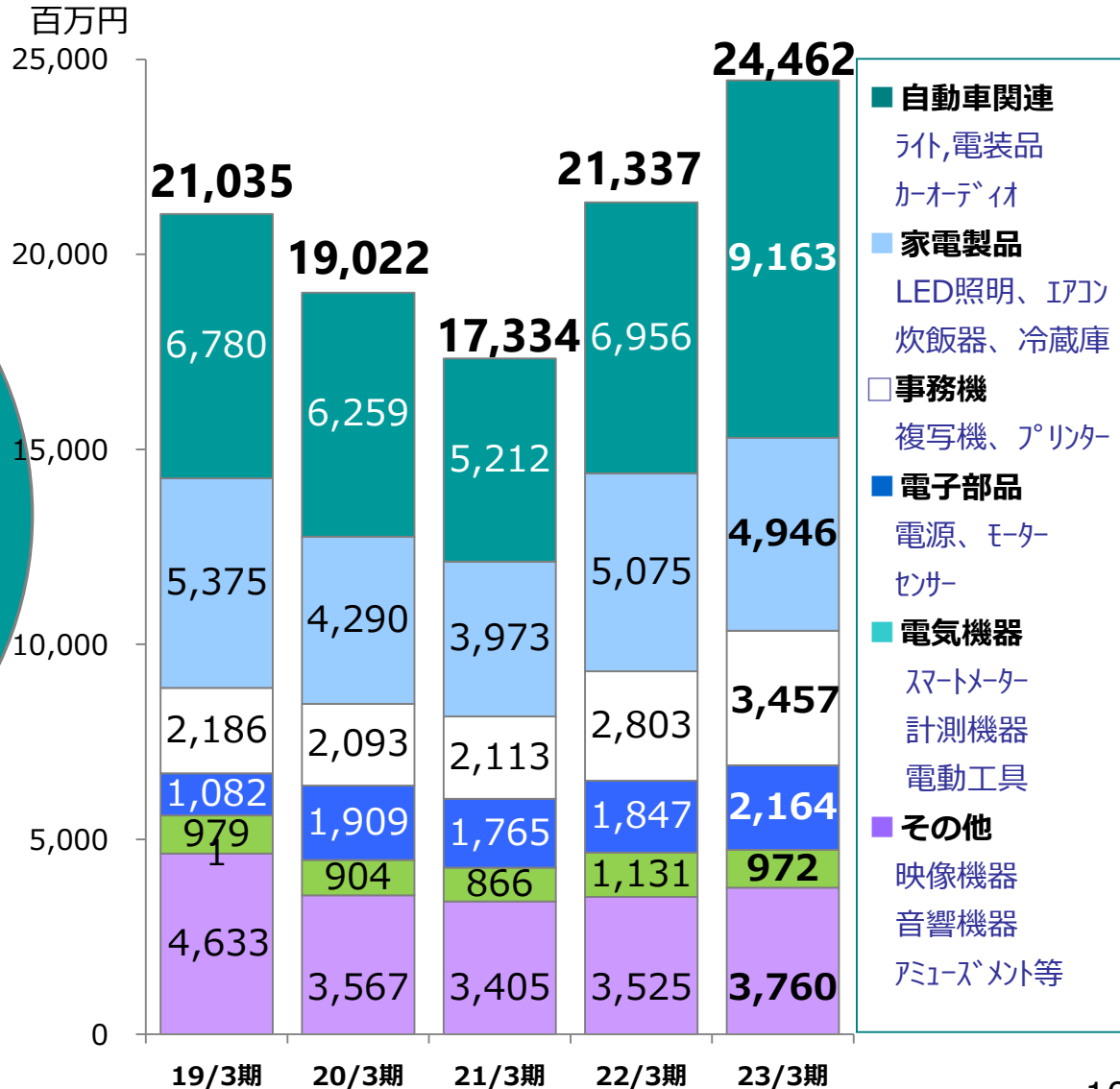
用途別売上高

自動車関連の売上増加

外：23年3月期（当期）

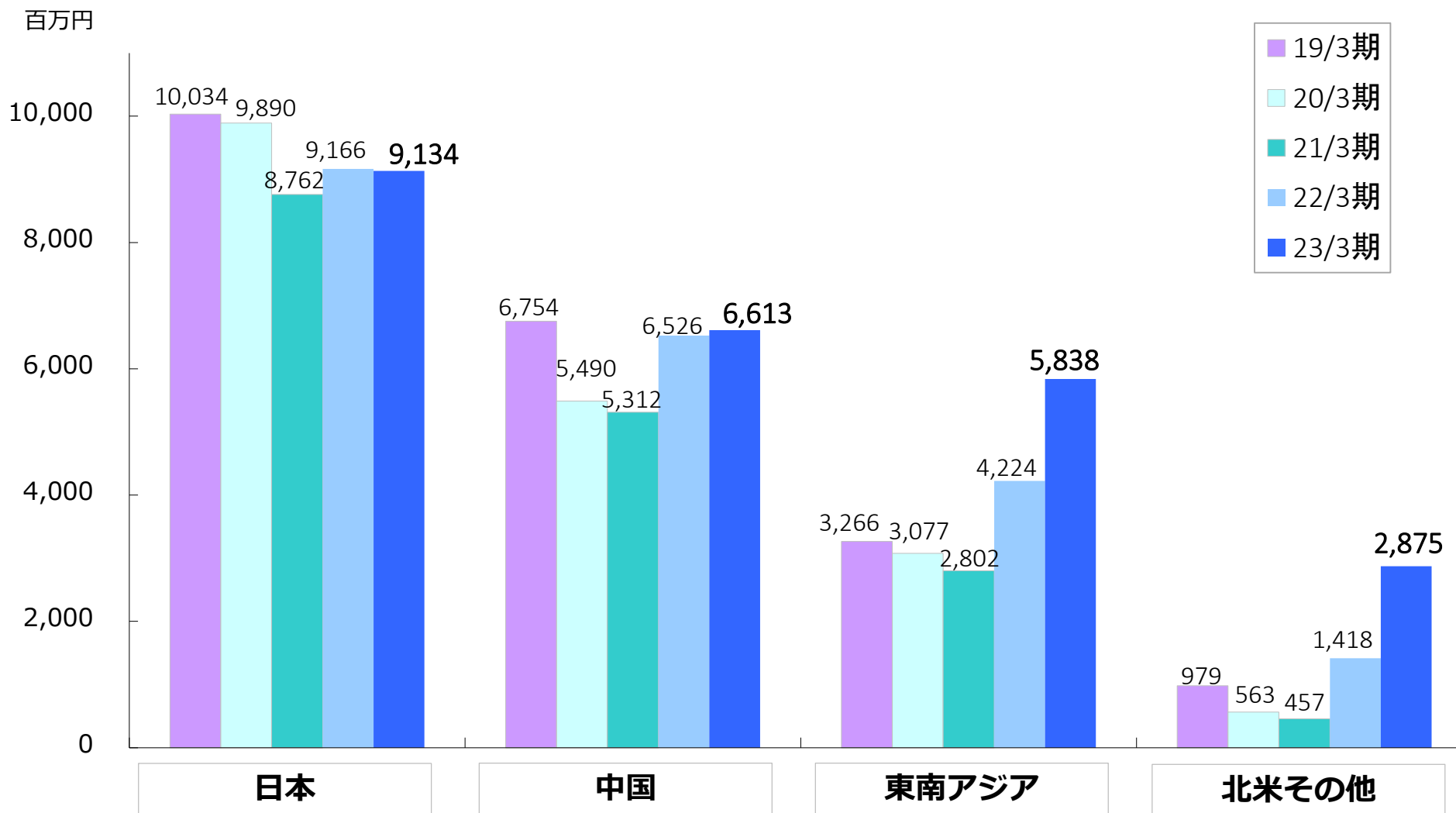


内：22年3月期（前期）



販売地域別売上高推移

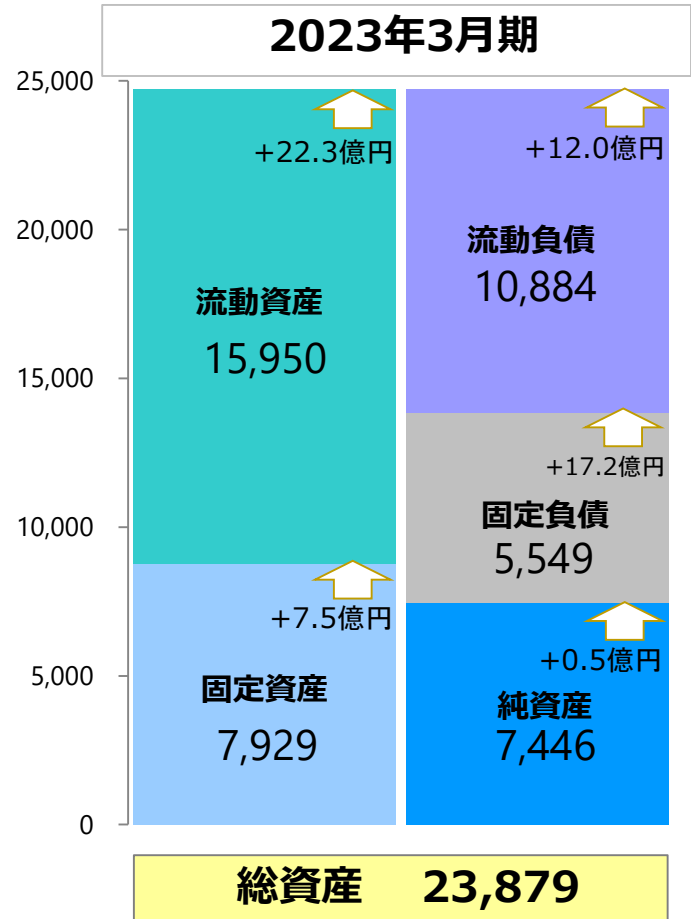
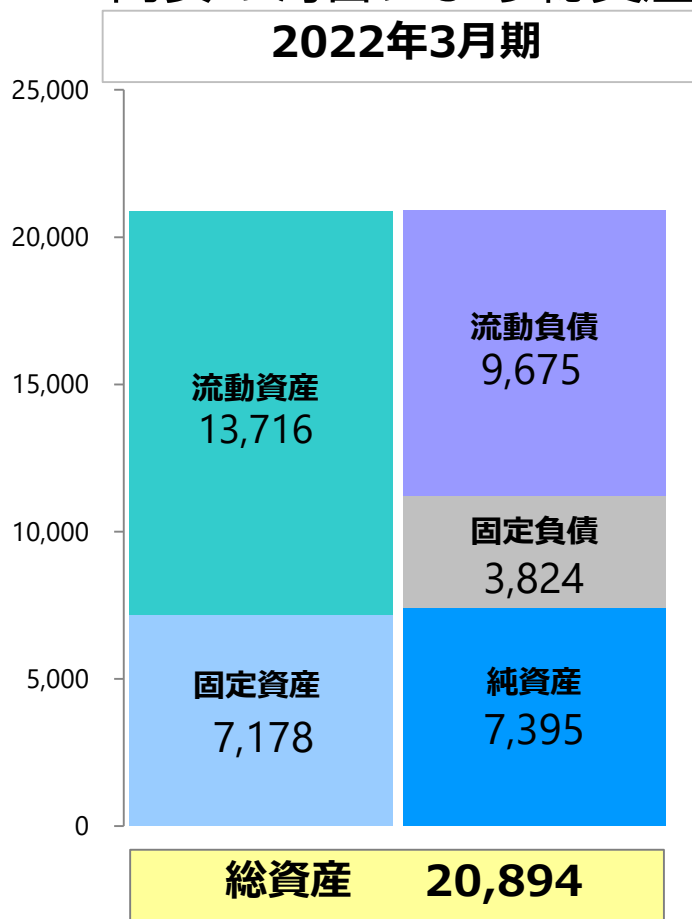
■ 東南アジア・北米その他売上増加（海外比率57%→63%）



貸借対照表

■ 円安の為替により総資産増加

(単位：百万円)



経営指標	2022年3月期
流動比率	141.8%
有利子負債依存度	39.7%
自己資本比率	34.4%

2022年3月期
為替レート
KIC: US\$122.39円
KVC: US\$115.02円
KHC: HK\$ 14.75円

経営指標	2023年3月期
流動比率	146.5%
有利子負債依存度	43.8%
自己資本比率	30.3%

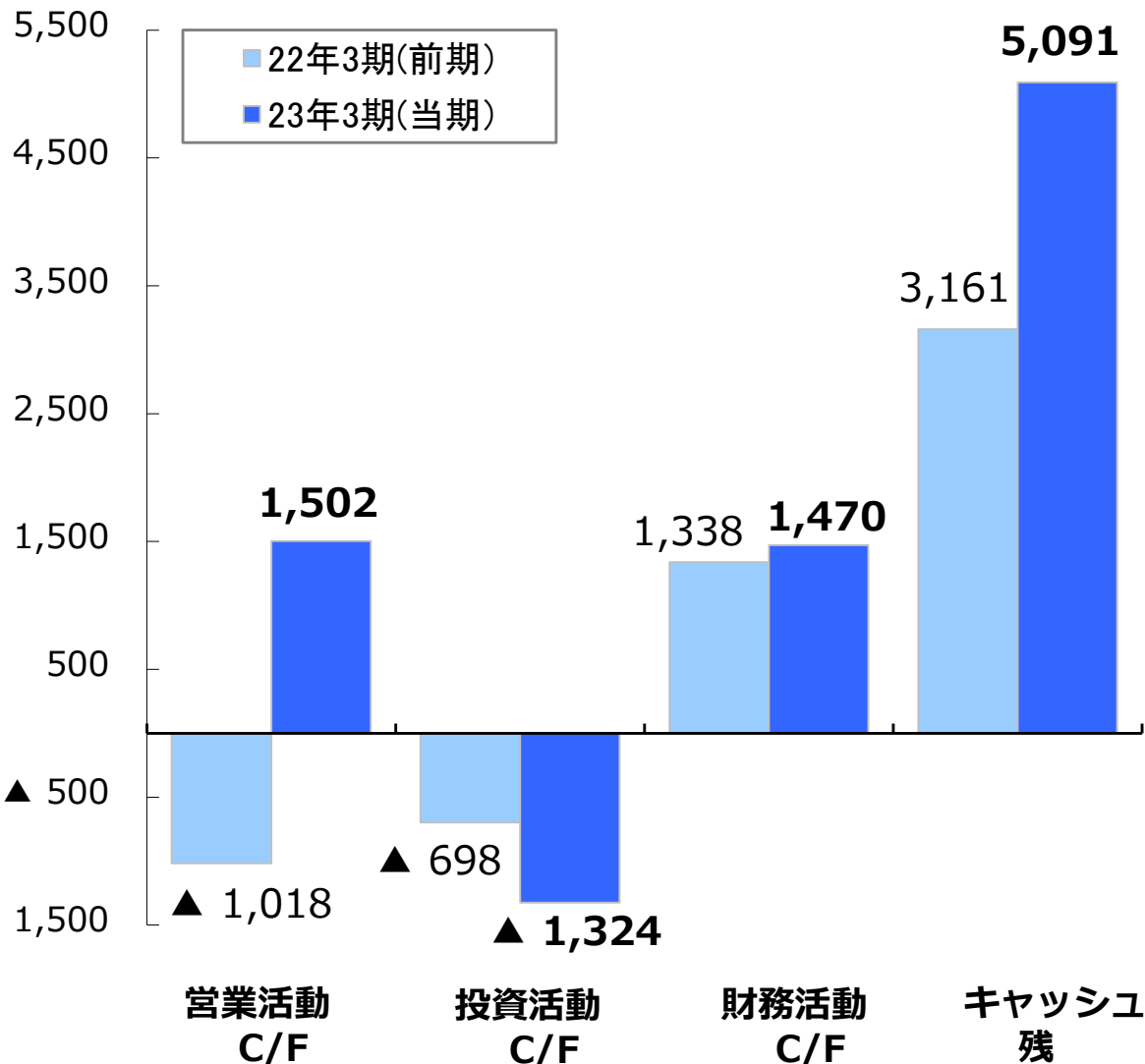
2023年3月期
為替レート
KIC: US\$133.53円
KVC: US\$132.70円
KHC: HK\$ 17.02円

キャッシュ・フロー計算書



■ 棚卸資産の削減推進により営業活動C/F改善

百万円



<特記事項>

営業活動C/F +1,502百万円

税引前利益	△234百万円
減価償却費	947百万円
売上債権の減少	429百万円
棚卸資産の減少	235百万円
仕入債務の減少	△27百万円
法人税等の支払	△254百万円

投資活動C/F △1,324百万円

固定資産等の取得	△1,315百万円
・ベトナム工場 第2ライン投資	
・新潟工場 エッチングライン投資	
・中国工場 自動印刷機投資	

財務活動C/F 1,470百万円

短期借入金純増額	86百万円
長期借入金純増額	1,510百万円
配当金支払い	△70百万円
リース債務返済	△55百万円

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a black crosshair with four colored squares (blue, red, yellow, and white) at the intersections, positioned to the left of the main title.

Ⅱ. 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

連結	業績予想 (2024年3月期)		(参考)
	通期	前期比	前期実績
売上高	25,000	102.2%	24,462
営業利益	1,000	148.8%	671
経常利益	830	134.0%	619
親会社株主に帰属する 当期純利益	560	-	△485
配当予想(円)	9.00	6.00	3.00
US\$為替レート	130.00	-	-
HK\$為替レート	16.58	-	-

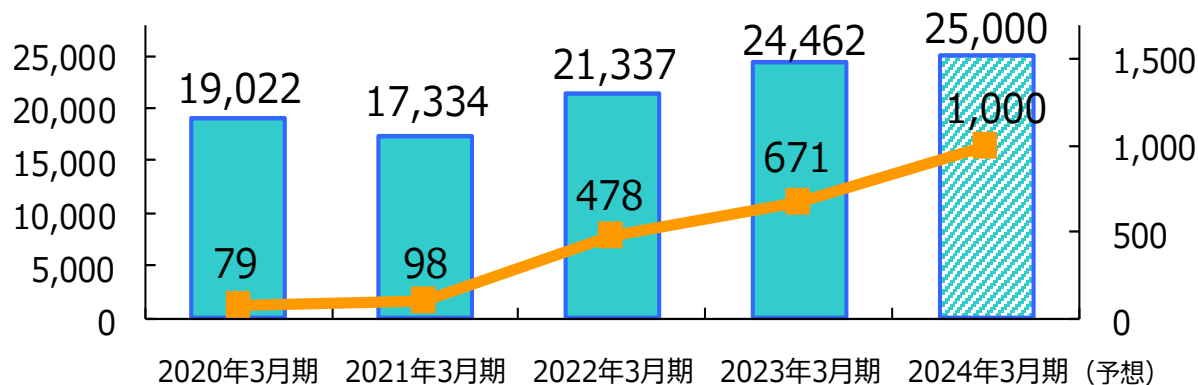
■ 今後の見通し

- ・ 景気回復期待も世界的金融引き締めによる政策金利の上昇や為替変動、ロシア・ウクライナ情勢による原材料、エネルギー価格高騰など、世界経済は依然先行き不透明
- ・ ベトナム拠点の増産体制の完了、業績寄与
- ・ 新規顧客開拓、ものづくり競争力の向上と業務効率化による収益力強化を図り、増収増益を目指す

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



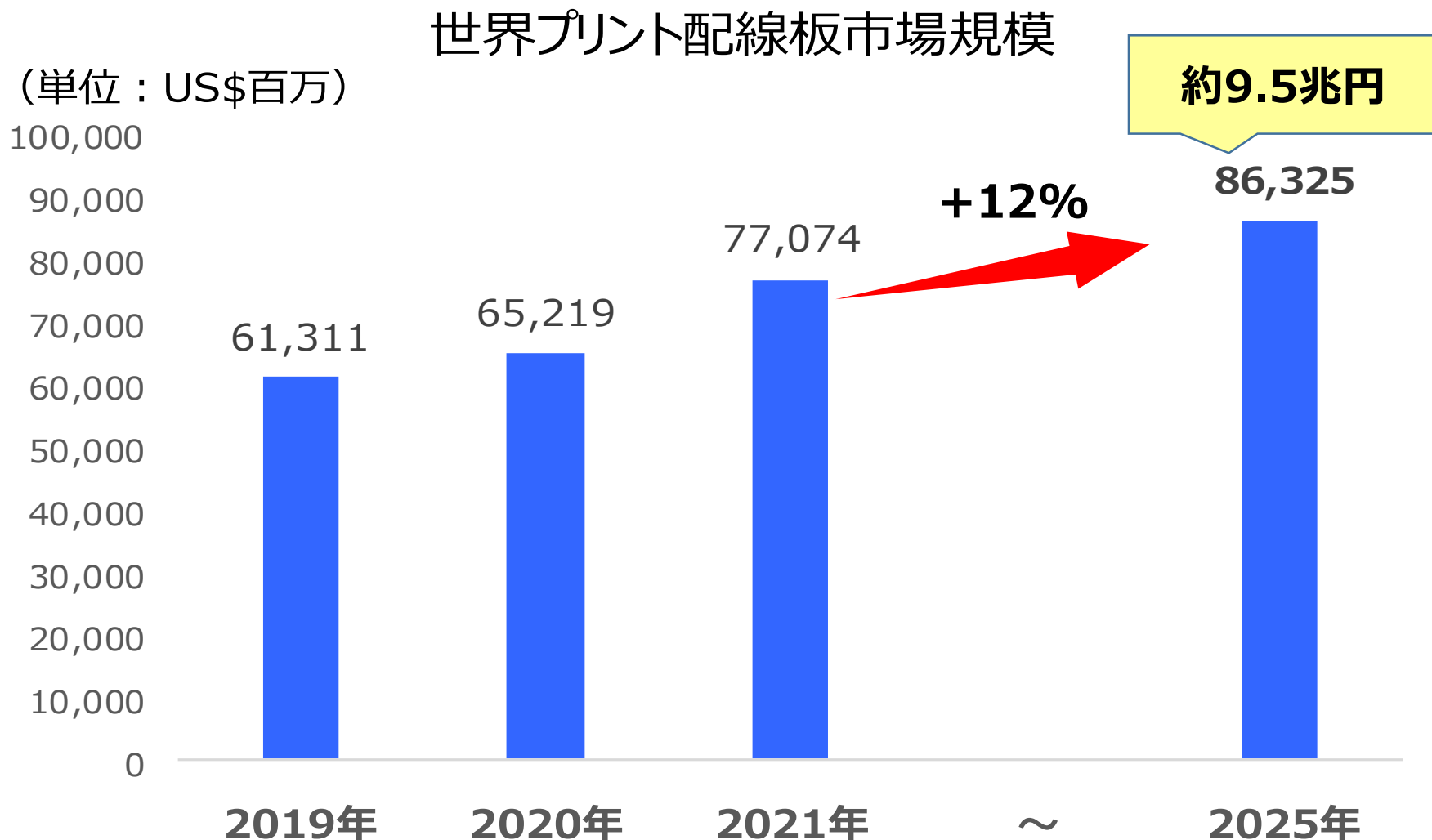
A faint, light gray world map is visible in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a black crosshair with four colored squares (blue, red, yellow, and white) at the intersections, positioned to the left of the main text.

Ⅲ. 中期経営計画について

2022年3月期～2026年3月期（5年計画）

プリント配線板の市場動向（世界市場）

■ 2021年以降も世界のプリント配線板需要は拡大の見込み



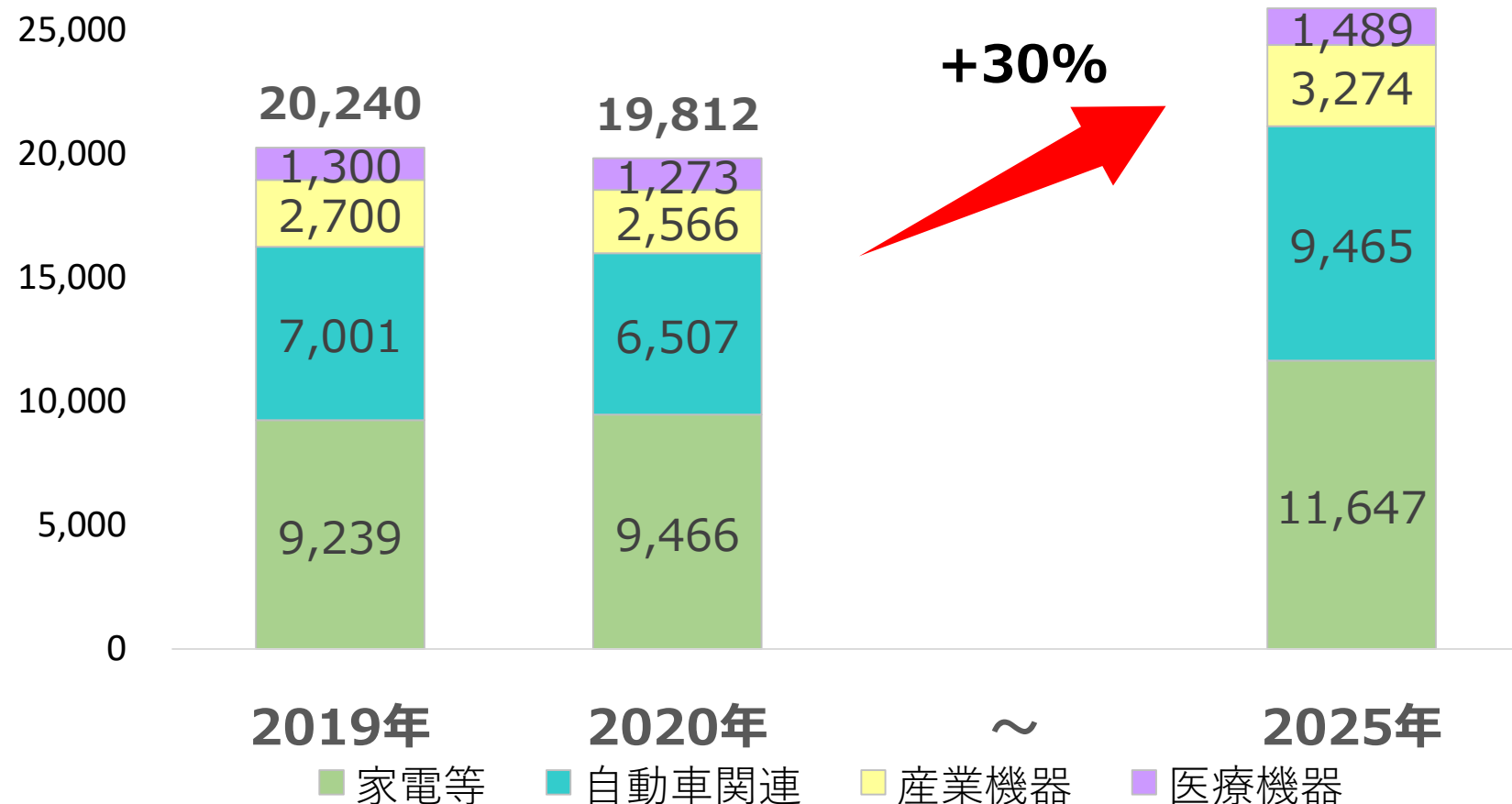
用途別のプリント配線板市場動向（世界市場）

■ 京写がターゲットとする車載、家電、産業機器などで需要拡大

約2.8兆円

(単位：US\$百万)

用途別需要予測



プリント配線板業界での京写のポジション

- 京写は強みを活かせる事業領域に特化し、競争優位を発揮
同業他社は撤退や多層板以上にシフトし、競合は減少

(片面板は家電等の底堅い需要があり、両面板は自動車、産機向けで需要増)

プリント配線板の種類	京写 生産拠点	用途	参入企業
パッケージ ビルドアップ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体(パッケージ基板) ・通信機器(スマートフォン) ・精密機器(デジタルカメラ) 	イビデン、新光電気工業 メイコー、CMK、京セラ 台湾系、韓国系、中華系多数
多層板	—	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン(HDD、ネットワーク機器等) ・自動車(エンジンコントローラ等) 	メイコー、CMK、キョウデン シライ電子、台湾系、韓国系、 中華系多数
両面板	日本 中国 ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車(ライト、インパネ等) ・アミューズメント機器(ゲーム機等) ・電子部品(センサー、医療機器等) ・産業機器 (FA機器、ロボット等) 	京写 、シライ電子(日本、中国) キョウデン (日本、タイ) 台湾系、中華系
銀ペースト 両面板	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・カーオーディオ ・事務機(OA端末) 	京写 、北陸電工
金属ベース	日本、中国 インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品(モーター、電源部品等) 	京写 、日本発条、中華系
片面板	日本 中国 インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・家電製品 (LED照明、エアコン、炊飯器等) ・事務機(複写機、プリンター) 	京写 、日系未上場企業 中華系

京写グループの事業領域

経営ビジョン

一流になる

スローガン

Build Trust

基本戦略

企業間連携を最大活用し、独自技術に磨きをかけ
グローバルニッチトップメーカーになる

①グローバル生産・販売戦略

主旨

グローバル供給体制によるソリューションの提供

市場動向

・サプライチェーン分散化の加速 ・ASEAN(ベトナム)の成長 ・自動車電装化、EV化の進展 ・再生可能エネルギー、インフラ市場拡大、5Gの普及

重点施策

①最適な供給網の再構築

- ・ベトナム工場第1期フル稼働
- ・両面事業・営業拠点の再編

②車載・再生可能エネルギー分野向け

両面・金属基板事業の拡大

- ・技術提案型営業の推進

③片面シェア拡大による業界最大の利益確保

- ・圧倒的低コストでのものづくり

④基板・実装・治具の販売シナジー最大化

- ・グループ内連携による拡販
- ・外資系メーカーへの拡販

2026年3月期目標

製品別売上 (300億円)

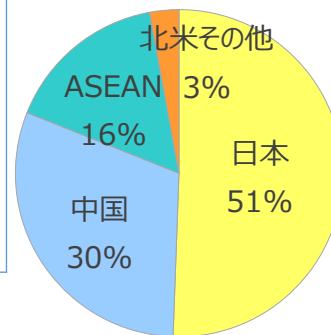
両面板・金属基板の拡大

単位：億円

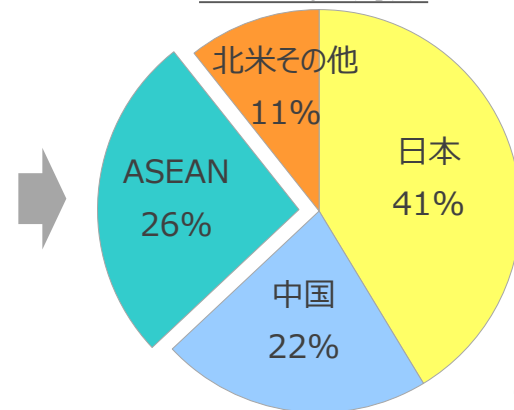


地域別売上割合 ASEAN(ベトナム)地域拡大

2021年3月期



2026年3月期



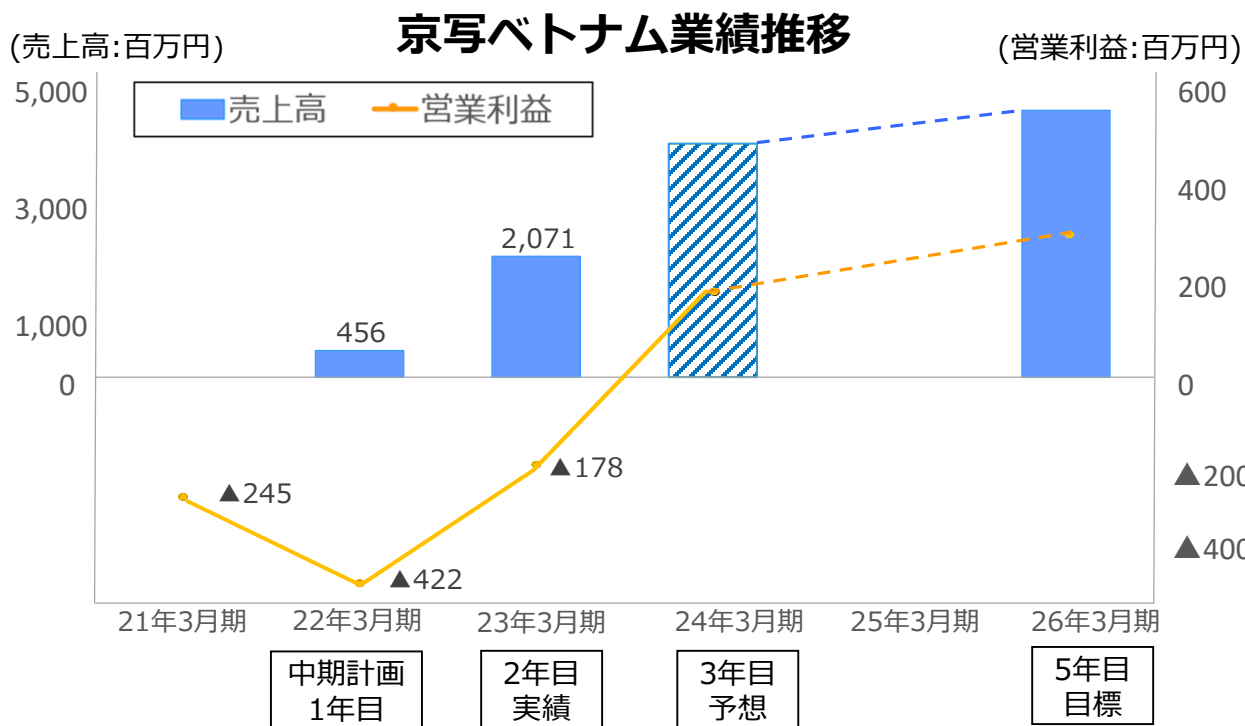
トピックス(両面板製造拠点の海外展開)

■京写ベトナム 稼働進捗状況

- ・2021年1月 販売開始
生産能力：20,000㎡/月（1ライン生産体制）
現在自動車向け製品を中心に生産
投資額：26.8億円

・第2生産ライン導入(2023年7月稼働予定)

- 生産能力：40,000㎡/月に拡大
投資額：12.3億円



②企業間連携戦略

主旨

戦略的ネットワークによる競争優位の獲得

市場動向

・自動車電装化・EV化の進展、再生可能エネルギーのイノベーション等、
技術高度化・ニーズ多様化の加速

重点施策

①顧客・仕入先との連携

- ・EMSメーカー・商社との連携マーケティングによる製品開発、販路拡大
- ・材料メーカーとのタイアップによる新商品開発

②同業他社との相互補完関係の構築

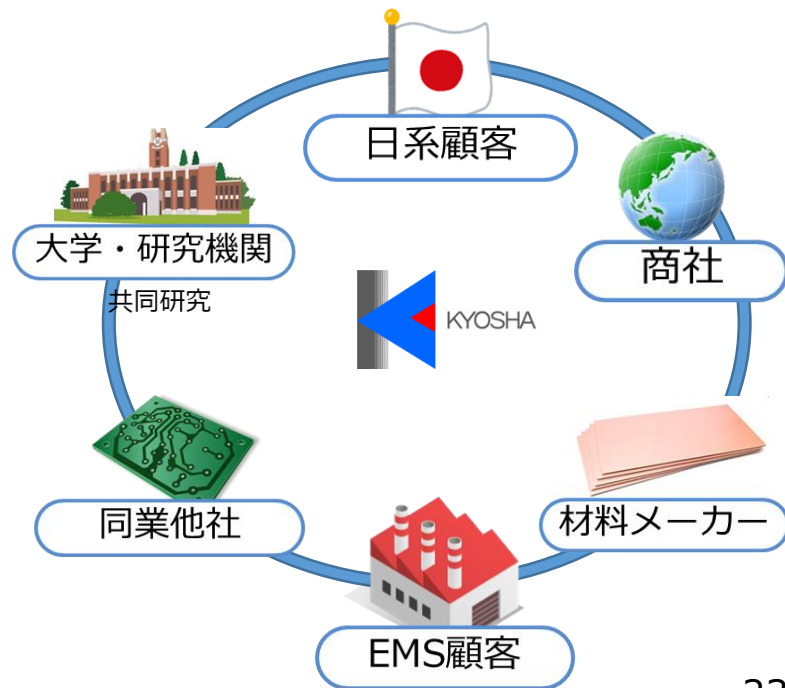
- ・同業他社との連携によるベトナム両面板増産
- ・設計・試作会社との連携による受注拡大

③技術の共同開発

- ・産学連携による技術・ビジネス開発

目標

- ①販路拡大・新市場開拓
- ②提携シナジーによる事業拡大
- ③新製品開発（コア技術確立）



③効率化戦略

主旨

自動化、IT化及びDX推進による生産性向上

市場動向

- ・人材不足、人件費高騰によるデジタル技術の進展
- ・コロナ禍によるビジネスモデルの抜本的変革
- ・コスト対応力の要求

重点施策

- ①**自動化、IT化による生産効率向上**
 - ・自動化による工数・ロスタイムの削減
 - ・新工法活用による生産量拡大
- ②**DX活用による業務効率化推進**
 - ・基幹システムによる見える化・効率化
 - ・DX推進による業務の見直し
- ③**トヨタ生産方式の水平展開**
 - ・ムダの排除による小ロット対応の最適化
 - ・設計強化による付加価値提案(VE)

2026年3月期目標

営業利益	16億円
利益率	5.3%



京写ベトナムIT化



自動化(ロボット化)推進

④ 技術戦略

主旨

コア技術の深化によるニッチ・成長市場の開拓

市場動向

環境負荷低減、省エネルギーや小型化・高密度化ニーズの高まり

重点施策

① 市場ニーズに基づく開発資源の集中

- ・プリンタブル関連基板の事業化
- ・0603対応微細基板の技術提案

② 超厚銅基板の技術確立

- ・厚銅エッチング技術確立、量産化

③ 付加価値のある印刷技術の追求

- ・大板印刷・Cuペースト印刷の技術確立

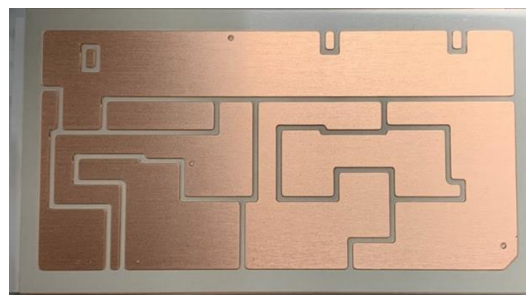
④ 生産技術を活用した新用途・新工法の開発

- ・自動機(ロボット)や工程革新のための研究開発
- ・治具の新用途開発

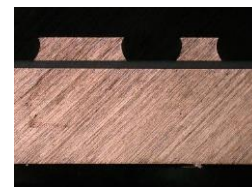
2026年3月期売上目標

環境対応商品

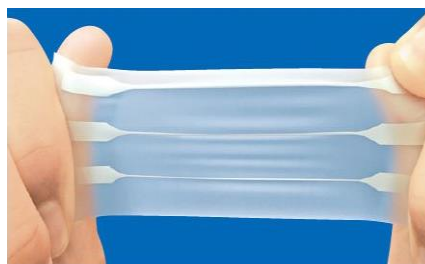
10億円



超厚銅基板(外観)



(断面)



プリンタブル基板
(ストレッチャブル基板)

⑤財務戦略

主旨

将来の成長実現に向けたキャッシュ・フロー経営

市場動向

米中貿易摩擦長期化、サプライチェーン分散化の加速によるASEAN(ベトナム)の成長、世界経済の回復見通し

重点施策

① 持続的成長に向けた集中と選択による投資

- ・将来の成長事業への優先投資と早期収益化による投資回収

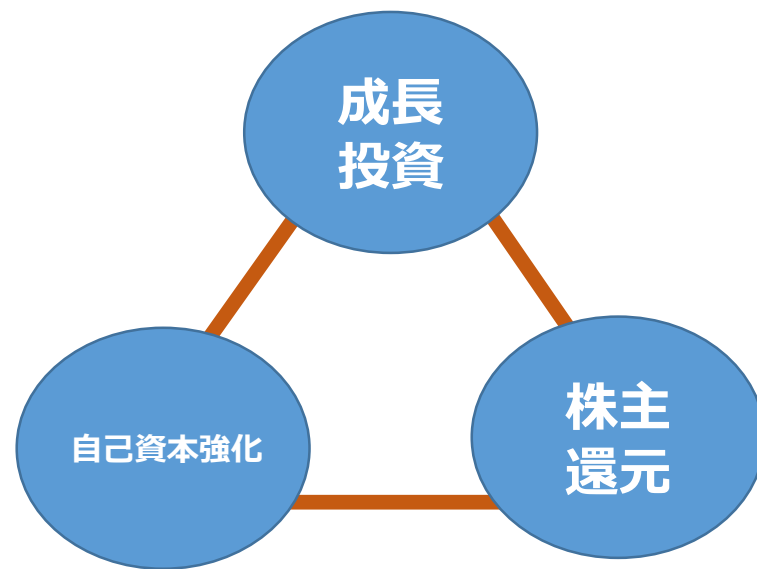
② 自己資本の強化

- ・収益力強化による自己資本の充実
- ・有利子負債の適正化
- ・生産リードタイム短縮、棚卸資産・売上債権の圧縮による資本効率化

③ 持続的・積極的な株主還元

2026年3月期目標

ROE	10%
配当性向	25%



⑥ 人財戦略

主旨

社員一人ひとりの能力開発と活躍による企業価値向上

市場動向

デジタル技術(DX)の進展加速、働き方の多様化、生活・仕事への価値観の変化、キャリア形成意識の向上、CSRに対する社会的要求の高まり

重点施策

① 社員満足度の向上

- ・働きやすい職場環境づくり
 - DX活用による働き方改革
- ・人事制度の見直し
 - 評価制度・業績連動型報酬

② 多様な人材能力の発揮

- ・グローバル人材、グローバル人材

③ マネジメント人材の育成

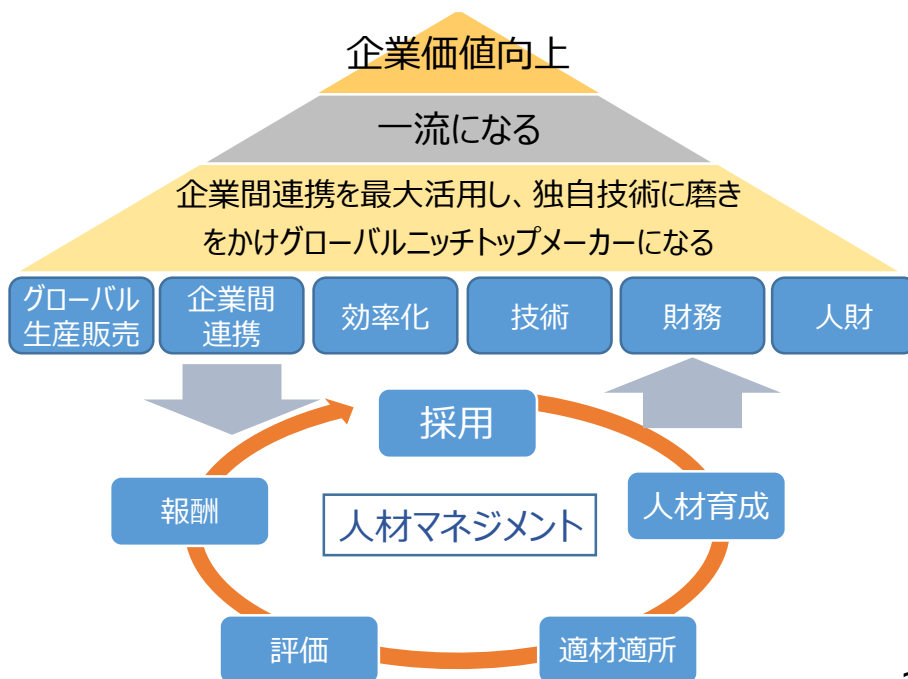
- ・後継者育成、マネジメント育成

④ 信頼と安全の体制づくり

- ・グループCSR体制の推進
 - ESG・SDGsの取組み
 - コーポレートガバナンス対応

目標

- ① 従業員が誇りに思える会社づくり
- ② スキルのレベルアップ
- ③ 高度な業務知識の向上
- ④ ESG課題の解決とコンプライアンスの徹底



中期経営目標

経営目標

2026年3月期

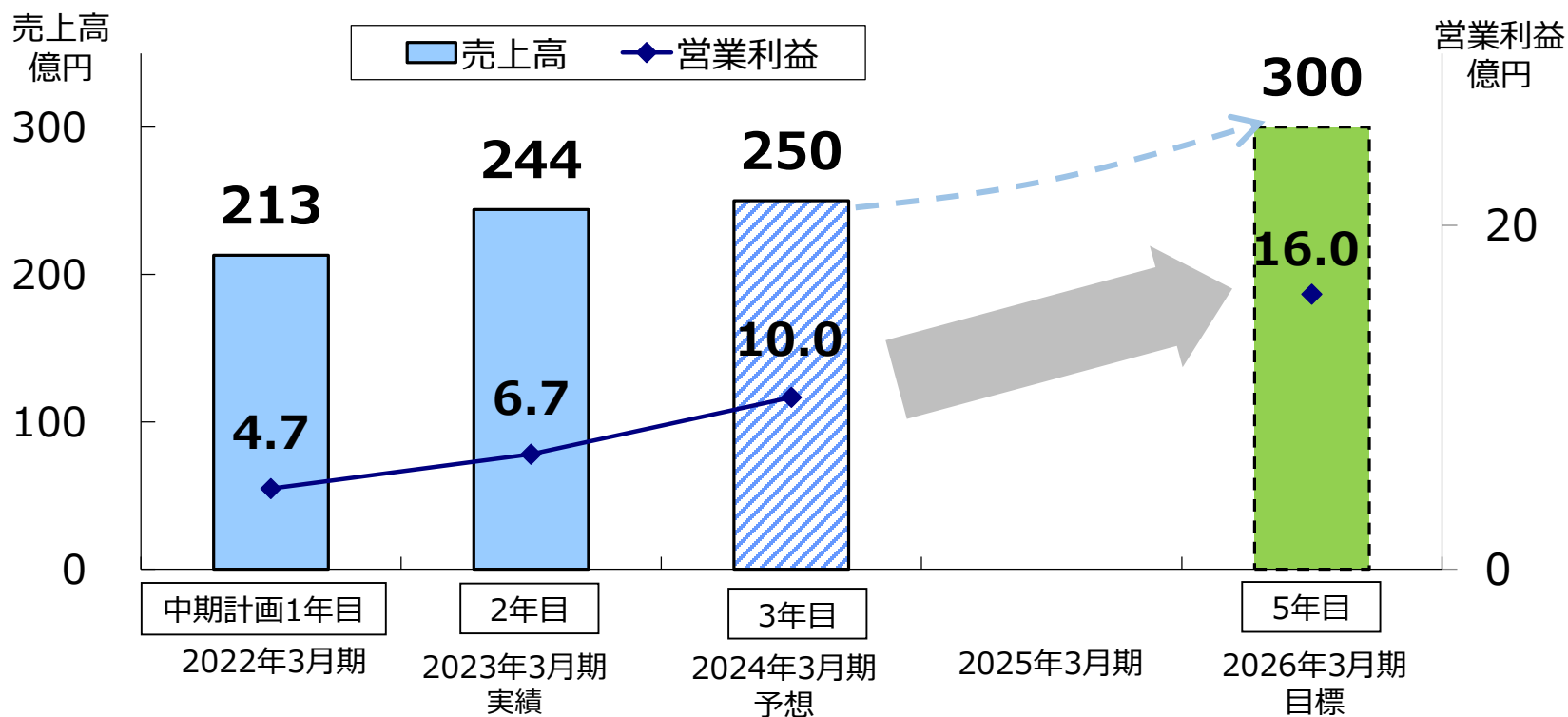
売上高 300億円

営業利益 16億円

営業利益率 5.3%

ROE (自己資本利益率) 10%

中期経営目標



今年度は下記7項目を重点課題として各戦略を推進

2024年3月期 重点課題

- 全員参加でベトナム工場の事業の確立
- 新規顧客、新商品開発の推進
- 業界NO.1のものづくり競争力を身に着ける
- 間接業務のQCDを向上させる
- ESG経営体制の構築
- キャッシュフローの抜本的改善
- 後継者の育成とやりがいある組織文化の形成

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the center. The top-left quadrant is blue, the top-right is red, the bottom-left is yellow, and the bottom-right is white.









IV. サステナビリティへの取組み

サステナビリティ方針とESGに配慮した事業活動

■ サステナビリティ方針

京写グループは、経営理念、経営基本方針、行動規範に基づき事業活動を実践し、お客様、株主、投資家、従業員などすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

■ 事業活動によるESG、SDGsへの取組み

ESG	SDGsの目標	京写の取組み
E 環境	  ・水の利用効率の改善 ・地球温暖化防止(CO2削減) ・化学物質の使用量削減 ・廃棄物の削減 ・エネルギー効率の改善	・水,電気,インクの総使用量と原単位使用量削減 ・廃棄量の削減 ・自社開発の環境配慮型製品(ECOMAP)の市場浸透 ・環境対応、省エネ向け製品 シェアの拡大
		
S 社会	  ・適切な雇用創出 ・強靱なインフラの開発 ・製造業のサプライチェーンの強化とバリューチェーン拡大	・京写ベトナムによる両面板サプライチェーン体制の強化 ・多様な人材の育成と能力の発揮
	  ・質の高い教育の推進 ・ジェンダー平等、女性活躍推進 ・社会貢献活動	
G ガバナンス	 ・企業倫理の徹底と法令順守	・サステナブル体制の推進

(参考) 株価推移及び株主還元



出所：Yahoo! ファイナンス

【10年チャート】

— 移6カ月 — 移12カ月 — 移24カ月



項目	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期予想
1株当たり当期純利益(円)	0.08	△ 9.46	20.18	△ 33.78	38.97
1株当たり配当金(円)	4	0	5	3	9
配当性向	—	—	24.8%	—	23.1%
配当利回り	1.8%	—	1.5%	1.1%	3.2%

(※)

(※)24/3期予想「配当利回り」は23/3期の3/31終値を基に算定

この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も十分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。